

平成 2 2 年 1 0 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

日 時	平成 2 2 年 1 0 月 1 5 日 (金) 午後 1 時 3 0 分 ~ 午後 5 時 4 5 分	
場 所	秦野市役所西庁舎 3 階会議室	
出席委員	委員長 高野 二郎 委員長職務代理者 望月 國男 委員 高橋 照江 委員 加藤 剛 教育長 金子 信夫	
欠席委員	なし	
委員以外 の出席者	教育総務部長 鈴木 和彦 生涯学習部長 露木 茂 教育総務部参事 熊澤 広明 生涯学習課長 横溝 昭次 教育総務課長 二階堂 敬 スポーツ振興課長 井手 則夫 学校教育課長 三竹 芳則 図書館長 和田 義満 教育指導課長兼 教育総務課課長補佐(庶務担当) 入野 義郎 教育研究所長 高木 俊樹 教育総務課庶務班 吉田 浩成 教育指導課指導主事 山口 昌男	
傍聴者	1 名	
会議次第	1 開 会 2 前回会議録の承認 3 教育長の報告及び提案 (1) 平成 2 2 年 1 1 月の開催行事等について (2) 第 2 3 回インターナショナルフェスティバルの開催について (3) 西庁舎前での中学生による迷惑行為について (4) スタートかながわ青少年安全安心意見発表会について (5) 「はだの教育プラン」検討委員会について (6) 平成 2 2 年度市民大学「ふるさと再発見コース」の開催について (7) 谷鼎 (たに かなえ) と窪田空穂 (くぼた うつぼ) 展の開催について (8) 語りと音楽・花音 (かのん) 朗読コンサートについて (9) 喫茶コーナーの開催について (10) 全国植樹祭感謝祭について 4 議 案 (1) 議案第 2 0 号 平成 2 2 年度秦野市教育委員会教育功労者等表彰について (2) 議案第 2 1 号 平成 2 3 年度秦野市立小・中学校県費負担教職員人事異動方針について 5 協 議	

	(1) 秦野市行政評価委員会の評価結果について (2) 坡州市中学生派遣研修事業について 6 閉 会
会議資料	別紙のとおり

委員長	10月定例教育委員会会議を開催します。 前回の会議録について、ご質問、ご意見等がございますか。 —特になし—
委員長	前回の会議録を承認いたします。 「議案第20号」は、個人情報が含まれているために秘密会での審議で、よろしいでしょうか。 —異議なし—
委員長	議案第20号は秘密会といたします。 「教育長の報告及び提案について」お願いいたします。 —教育長の報告及び提案について説明—
委員長 望月委員	ご質問、ご意見等がございますか。 市役所西庁舎の前で中学生が集まっている件で、声をかけて地域の大人が子どもに関心があるということを常に示してやるということが大事ではないか。強化週間をつくって、関係団体の人たちがパトロールするとか常駐するとか。アクションを起こして鎮静化する例もある。
高橋委員	知らない人から注意をされて、それを素直に聞くほうが今では珍しいことなのかなと思います。顔なじみになってある程度人間関係を築いた後で効果が出ると思いますので、教育委員会の職員が、声かけなりしていただいたほうが良い。
教育指導課長	部長と私で議員と面接を行い、この内容の趣旨を説明しながら文書をお渡しいたしました。ただ、周りの人は、教育委員会、該当の学校、警察などに連絡することが適切な判断ではないか。そういう趣旨を理解していただきました。 なお、この文書は、財産管理課、広聴相談課、くらし安全課、子ども育成課にも渡し、一緒にこの理念でやっていこうということを確認しております。また、市P連の会合の中でも紹介させていただいております。
委員長	とりあえずは、そこにいる人が指導、注意をするということから始めなければならないのではないかという気はします。各部署には、具体的な対応方法が伝わるよう話をさせていただければと思います。
望月委員	例えば、該当する学校のPTAや地域のはぐくむ協議会の

教育長

協力を得てやってみるのも良いのではないか。

「だれかがやらなきゃいけない」と思って意を決してやってみたら、すごいリアクションが返ってきますので、パトロールを日常的に取り組むには、相当な努力が必要だと思います。

委員長

元気のいい人がいて、ひっぱたいたりたばこを取り上げたりする人がいるかもしれないけど、そういうことは効果がないと言っているわけだから、ちゃんと議論して、こういう対応をすべきだということを決めて組織で対応するということをやらないと問題がかえって大きくなってトラブルが起こる気がします。

教育長

彼らは、追い出すと必ずどこか別の場所を求める。だから、彼らにはそういう場所が必要なんじゃないかと思うときがある。家に帰っても居場所がないし、学校でも部活はやっていないし、でも、どこかにいななきゃいけない。

加藤委員

彼らが目立つところでわざわざ吸ってみて、大人から声かけされることは想定済みで、むしろ、声をかけられて「うるせえな、関係ないだろう」と、はむかうことが彼らの価値観の中では格好いいのでしょうし、ある意味それが目的だということも1つあるのかなという気がしています。ですから、彼らの心のすき間を埋めてあげるための声かけは当然必要で、していかなければいけないのですが、「いじめや喫煙は悪いんだよ、いけないことなんだよ」と言っても、なかなかこれは受け入れられるものではないという気がしますし、彼らの価値観の中で格好悪いということ意識づけしていく必要があるのかなと思います。

そういった意味では、なかなか特効薬はないと思うんですけども、具体的にどのようなスケジュールで今お考えになっているのかということをお聞かせいただければと思います。

教育指導課長

現在のところ、財産管理課のほうにも検討していただいている最中ですが、掲示板までは踏み込めないという状況です。

今、どういうことをやっているかという、あそこを常にきれいな状態にすることによって、格好悪い、価値観としてよくないんだということを環境から整備していくということをしていくという確認をしております。

加藤委員

引き続きよろしく申し上げます。

望月委員	とにかく、生徒指導にはこれがベストだというものはないので、差し当たりこういうことができるのではないかということをやっていく、これしかないのではないか。
高橋委員	実際に、物質的に居場所がないというのはかわいそうな気がする。いつか、昼間お母さんたちが働きに出て留守の家庭の中に入り込んでしまって、密室化されたということがあります。もちろんたばこかはいけませんけど、そうした子供が集えるような場所をつくらないといけないのかなというような気もします。
委員長	きれいにしておくとか明るくしておくとか、そういうことが大事です。
望月委員 教育指導課長	報告の4点目ですが、学校関係はどう参加するんですか。 8月下旬の段階で、警察から交通安全、あるいは防犯意識の啓発を行っていきたいという投げかけがございました。これから子どもたちの作文を各学校に募集するということは、この秋口、非常に厳しい教育課程の問題もありますので、夏休みの中でそのような防犯や交通安全の作品を残した児童生徒がたくさんおります。その作品の中から小学生3名、中学生3名に絞り込んで、この発表会への参加の依頼を学校と委員会へ連絡して、家庭等に伝えていただくというようなシステムを考えております。
望月委員 教育指導課長	各学校に通知を出して参加要請はするのですか。 時期的に12月の末ですから、学校も指導整理、評価で忙しい時期ですので、警察や関係団体にも学校になるべく負担をかけてほしくないということは申し入れております。ただ、代表の小中の各3名にかかわる学校やPTAにつきましては、声かけはしていきたいと思っております。
委員長	ほかにご質問、ご意見は。 市民大学の修了生が何らか市のために働くといったことは、こちらからの仕掛けはあるのですか。
教育長 委員長	ないです。 そういうことをしないと発展しないということは確かです。子どもの場合もそうだけれども、ふるさと検定だって、1級が受かった人は子どもを集めてどこかの神社仏閣を回るときのリーダーにするとか、説明のためについていくとかしないと、幾ら高い検定に受かっても余り意味がないことになる。これもそういうことじゃないですか。
生涯学習課長	卒業されたその後の受け皿が私のほうでも用意されていな

	いこともありまして、なかなかこの発見コースの目的が達成できないという状況でございます。観光協会のほうではそういう観点で活用しているというケースもあるということですので、私のほうも、受け皿について検討して、来年度は取り組んでいきたいと考えております。
望月委員 生涯学習課長	観光協会は具体的にどういう活動をしているのか。 観光のボランティアとして活動しています。できれば私のほうでも、史跡とかそういうところのボランティアを養成できないかなと思っています。
望月委員 図書館長	観光協会のほうは、ガイドの養成みたいなものでやっているのですか。 講習会が年に数回ありまして、観光地、大山、震生湖とかに行きまして、知っている人間に講師をお願いしまして、現地を見ながら覚えて、具体的に観光ボランティアによるツアーで募集をして、年に数回やっています。結構参加者は多いです。
教育長	観光ガイドの人は、ガイドをやるには、そういう講座みたいなものに行って何回か勉強して、自分はガイドをやるんだという自覚に基づいて講座を受けているわけだ。
図書館長 教育長	そうです。 市民大学は、これを受けたらきっとそういう人になってくれるのではないかと待っているが、観光のほうは、ガイドが欲しいから、ガイドを養成するための講座を開いて、即そっちへ持っていかうとしている。
委員長	市民大学は、それ以上のことは求めない。そうすると、ふるさとについて知りたい人がいっぱいいるから、それを知るチャンスを与えていますと。そうしたら、公民館とかで講座をやらしてもらえばいいんじゃないかと。 私も、やめてからこういうものを聞きたいと思っているけど、これを聞いたら何か仕事をしろと言われたら嫌だな。
委員長	ほかには。 —特になし— 「議案第21号 平成23年度秦野市立小・中学校県費負担教職員人事異動方針について」教育総務部参事から説明をお願いします。
委員長	—教育総務部参事より説明— ご質問、ご意見等があれば、お願いいたします。 (7)は免許の問題は当然あるわけですね。

教育総務部参事	幼稚園から小学校へ異動する場合、小学校の免許を持っていないといけない。小学校から幼稚園へ行く場合にも同じように幼稚園の免許を持っていないと人事交流ができないという形になります。
委員長 教育総務部参事	そういう人はたくさんいるんですか。 小学校で中学校の免許を持っている者は3分の1ぐらいはいると思っています。中学校で小学校の免許はちょっと少なくなってしまうと思っています。
教育長 教育総務部参事	幼稚園は？ 幼稚園の教諭の中で小学校の免許を持っている者は非常にまれと思います。小学校で幼稚園の免許を持っている教員については、割合的には1割ぐらいです。
委員長 教育総務部参事	何に一番気をつけるのですか。年齢構成ですか。 中学校においては、部活が現実的には考えなければいけない。それと、教員の年齢構成、男女構成も大きな意味合いを持つと思います。 小学校では、年齢構成、それから、職員間で何に有能であるかということを考えながら、かたまらないようにと考えてやっております。
委員長	新採用の人は同一校に5年以上はかかわらない、変な癖がついちやうと困るから。
教育長	市によって違うんです。5年が4年だったり6年だったり、8年が9年だったり、ここはある程度違いがあるんだけど、基本的には余り長く置くなということが県の人事方針です。
委員長	それでは、お諮りしますが、「議案第21号 平成23年度秦野市立小・中学校県費負担教職員人事異動方針について」、原案のとおり可決することでご異議ございませんか。 —異議なし—
委員長 委員長	よって、議案第21号は原案のとおり可決されました。 協議事項に入ります。 最初に、「秦野市行政評価委員会の評価結果について」、学校教育課長、生涯学習課長、スポーツ振興課長から説明をしていただきます。 —学校教育課長、生涯学習課長、スポーツ振興課長より説明—
委員長	私立幼稚園等就園奨励金補助金について、ご意見をお伺いしたいと思います。
望月委員	これは、22年度中に方向性を出すのか、あるいは、来年

学校教育課長	も延長してさらに検討期間とするのか、どのように考えているのですか。
加藤委員	当然、教育委員会のご意見をお聞きしなければいけませんけれども、15事業を行政評価という形で事業仕分けをした結果について、市の行財政改善推進委員会に諮った中で市としての方針を決定して公表するような段取りだと聞いています。これは22年度中でございます。
教育長	秦野市においては、公立の幼稚園が整備されている以上、各家庭の選択の自由によって私立に就園する場合においては、市の上乗せ、横出しは必ずしも必要ではないと考えますので、廃止の方向は基本的に賛成をしますが、やはり、いきなり次年度からゼロにするというのも、さすがに乱暴な形かなという気がします。ある程度時間的猶予を持った中で廃止をするか、段階的な削減という形が必要だと思います。
学校教育課長	レイマンコントロールという視点に立ったときに、これは高いとか安いとか、要るとか要らないとか、その根拠までをこの教育委員会の中で議論をして、その一連の価値とか意義とかを議論して決めたという経過はないと思うんです。もちろん、ここで結論的な方向を出すのはいいのですが、無理をお願いしているような気がしてならない。
委員長	当初は、やはり公立幼稚園が就園に必要な子どもの数を満たしていなかったという経過があって、私立幼稚園に通わせる保護者の方に補助を単独で出していたという経過があります。その後、国のほうも今まで続けている私立幼稚園等の就園奨励費補助金の制度をつくりました。二本立てで運営してございました。それを一本化するときに、単独で出しておりましたものを国の制度に上乗せあるいは横出しする形で現在の制度として続けている。
	教育委員会に、こういう制度があるということは知っているわけです。それを今まで続けてきたということは、毎年議論をしたわけではないけれども、少なくとも、これをやめようという議論にはならなかった。しかし、環境が変わって、この問題の見直しを迫られたというときに、改めて全体の様子を市全体の財政状況ないしは教育環境から考えて、これはやめてもいいかどうかという意見を教育委員会は求められているということだと理解している。
	また、やめる側の論理ではなくて、今までもらっていた側の論理からすれば、なぜ私立に行かなければならなかったか

ということを考える必要がある。これはいろいろな理由があると思うけれども、大義名分を言えば、私立に行くという場合には、建学の理念がある。一方で、公立では通えない、迎えに来てくれない、長く預かってもらえない、そういった理由があつて私立に行くという人もいる。そういう打ち切られる側の論理をちゃんと整理しておく必要があるのではないかと。そうすると、ここに通わせなければならぬという人にとっては、カットされちゃったら行けませんということだつてあり得る。そういう人を受け入れられる環境整備をしていく必要がある。もっと言えば、それは幼稚園ではだめなので保育園だとか、秦野は幼稚園と保育園の幼保一体教育が進んでいるというならば、保育園の充実というものを図っていくというようなことも同時にあわせてやらないといけない。財政的な論理だけで、切っちゃおうという、そんなに単純にはいかないのではないかと気がします。

高橋委員

1枚目の資料に「1人当たり1万2,000円」と書いてありますが、高所得者とか無認可に行かせている人は除いてほとんどの人が1万2,000円、これは月額ですか。

学校教育課長

国庫補助対象の子どもさんへの就園奨励費、これは国庫の基準枠で交付させていただいているわけですが、それにプラスして、年額1万2,000円を市の単独で上乗せをさせていただいている。

教育長

公立の定数が満たないという問題と就園奨励費を減らすことを一緒にしてはいけないと思っている。公立幼稚園のあり方をこれからどうするかということの方向性も同時に検討していった中で図られるべき措置だろうと思います。

高橋委員

「年度別園児数の状況」を見ていきますと、公立幼稚園はちょっと減っています。市立幼稚園に通っている人のパーセンテージも少なく、増えているのは保育園児です。だから、私立に取られているのではなくて、やっぱり保育園の必要性が高まっている。

委員長

なぜ私立に行かなければならないのかというところをちゃんと調査しないと。これは公立が嫌だから行っているという人だけじゃなくて、ここに行かざるを得ない状況にあるという人がいるわけです。その人の多くは保育園的要素。つまり、迎えにきてもらって長く預かってくれる、そうしないと自分が働けない、こういう要素はかなりあると思う。その人たちが放っておくのかというところを議論しないといけないので

教育長

はないか。そういう人たちに対してちゃんと充実した環境を整えた上で切りますというなら私は賛成する。

客観的に見て、公立はあるけど3歳児は受け入れていない。でも、受け入れてくれる私立があるから、そこに入れた。「公立があるにもかかわらず好きこのんで私立に行っている」というような意見があるとしたら、公立は100%市民のニーズにこたえられる受け皿を持っているわけではないということで、若干違うなというような感じはしたんです。

委員長

その人たちにきちんとした説明ができることをやらなくてはいけないということもあります。それをいつからどういうふうにするのかということも同時に検討していく。段階的に、ないしは数年置いてということも同時に議論しておく必要があるのではないかという気がいたします。

望月委員

幼稚園の問題、宮永記念館、洋上研修とか、教育は基本的には赤字が伴うことが大前提であるという認識を私たちはしておくことが大事じゃないか。

加藤委員

我々は、お金のことを考えて結論を出さなければいけないのか、お金のことは考えずに、より良い教育環境の理想を求めて、そこへ声を上げていけばいいのかという2つのスタンスがあると思いますし、この就園奨励費に関しても、教育環境の整備を追い求めていくというスタンスに立てば、幼稚園によって、建学の精神もそれぞれありましようし、カリキュラムの内容差もあると思うんです。それを自由に選ぶ、その際に、公立、私立、分け隔てなく、余り負担の差がないように、自由に選択できるような環境が必要となれば、教育行政に携わっている我々の考え方としては、そちらに声を上げていかなければいけないのかなと思います。しかし、これだけ予算・決算にも目を通しながら、これだけ金額の数字も出てきた資料の中で就園奨励費の件を協議するということになる、やっぱり、お金のことを考えて判断しなさいという今回の議案上程なのかなと私は判断しておりますので、先ほども打ちきりやむなしという意見をしました。ですから、考え方によって私の中にも正反対の意見があります。

教育総務部長

3時間、4時間お話しをされて結論が出たとしても、市全体の財政だとかで覆されるということは十分可能性としてあります。ただ、教育としてどのような考えなのかということは提示をしていく必要があるのだろう。それは、教育という視点とコストという視点、両方あると思います。今こ

の時代で何か事業を行うときには必ずコストがかかってくる。お金がなければできないというところがあるので、コストも判断の範疇に入れながら、その方向性を出していくということが今求められているのかなと思います。

高橋委員

市単のほうは年額1万2,000円で、それに対して子ども手当が月額1万3,000円ということを考えると、補助を受けている家庭にとって1万2,000円という補助額がどれくらいの重さにあるか。上乘せ分は切ってもいいと個人的には思っているんですけど。

教育長

これは子ども手当が出る前からの話だから、見直すならば、1つの機会である、子ども手当という考え方は。

委員長

これは金がかかる、赤字だからやめるべきだといったら、全部やめていけばいいんだけど、そんなことで教育をできますか。それなら教育委員会は、なくていいんです。それこそ財務の専門家だけいればいいんだから。そんな乱暴な話はないから、教育委員会としては教育に関する説得力のある説明ができるようなことを考えなくてはいけない。

教育長

この幼稚園に関しては、私立と公立の問題ですから、私立が何であるかということをおぼろげに議論するのは難しい。だから、ここで議論することは余りなじまないと思っているので、教育委員会の総意で賛成だ、反対だというようなことは難しいと思います。

委員長

教育委員会として、ある程度の成案を示す必要があるんですか。

教育総務部長

「教育委員会ではこういうような雰囲気の見解が主流でした」と。だから、イエスかノーかということは、そういうような形で出ればいいですけど、たとえ出なくても、それはいいだろうと思っています。

委員長

大体、話は共通しているところはあるわけですが、ある程度のカットはしようがないのではないかとすることは。

教育長

ここには出ていない公立幼稚園のあり方をどうするのか。そこがまだ見えないと説得力があるかどうか。でも、そういうことがないとなかなか難しいでしょうということは皆さんの総意だと思いますよ。

もし教育委員会で方向性を出すなら、ここに、私立幼稚園の経営者、そこに通わせている保護者、公立の園長、全部呼んで、いろいろと聞いて、状況を把握してもう一回議論しないと、本当に自信を持って答えを出せません。かなり慎重に

望月委員

結論を出さなければいけない中身だろうと思います。

この問題については、さまざまな形で議論を進めていかないと、なかなか見えてこないのではないかと思います。

委員長

大体皆さんの意見が出尽くしたところで、ある程度の合意もあるような気がするんです。その辺の話を伝えていただければと思います。

それでは、宮永岳彦美術館、なでしこ会館、洋上体験の研修について。

私の意見を申し上げますと、美術館は、何か変えるのなら、もっと充実したものにする、あるいは、少なくとも、収納品を東京まで預けに行ったり持ちに行ったりしなければならないなんていうことではだめなので、ここの隣にそういうものをつくるということは必要だろうし、それともう少し設備をよくして、ほかの美術館と展示物を交換して、違う展示を年に1回や3回は開けるぐらいの設備にしないと、発展はないと思います。

高橋委員

ほかにはないんですか、皆さんに展示できるようなほかの美術品とか。

教育長

宮永さんの作品を展示するための美術館なんです。

高橋委員

厳しいですね。保管料はそんなに削るわけにいかないですよ、作品を傷めたら元も子もないですし。保管料はずっとかかりますよね。

委員長

秦野市には美術館が必要ではないかということがあったんだけど、そんなお金はないから、もらったものを預かる程度のものでつくったんでしょう。

望月委員

今、宮永家はどうかかわっているんですか。

生涯学習課長

私も、この間、お会いしたことがあるんですけど、「今はまだ発展の途上でしょう。最終的には市立美術館をつくらせていただけるんですよ」ということで、それを待っておられるみたいです。

教育長

入館料なんてたかが知れているわけです。だったら、いっそのことただにして、たくさんの人に見てもらって実績を上げるほうが得策だと考えたとして、それをやってみたらどうなのか。

高橋委員

多分、年齢が私よりも上の人になじみがあるんじゃないですか。ペンテルの箱の絵とか、私も子どものころ、母親が読んでいた雑誌の表紙とか、ああいうものにいっぱい書いておられたので。これからの次世代の人たちにはどうなのかなと。

望月委員

リピーターが呼べるのか。横浜美術館だって、常設は余りおもしろくないけど、特別展をやって人を呼ぶということが美術館の客寄せの手法なのに、それができないとなると、集客は難しいですよ。

委員長

自主事業で、工芸とか、絵画とかを開催することはできないのですか。

生涯学習課長

1カ月間は違う展示にかえるということは、やろうと思えばできるでしょう。

委員長

あそこは、ガラスケースを全部用意して人が触れないような形にしてくれれば貸してくれるところもあるということです。

生涯学習課長
教育長

空調だって十分ではないですよ。

そうです。

来館者の数を今の5倍か10倍にすれば、いろいろ言わないで済むの？

生涯学習課長
教育長

すべて支出の関係です。事業費がかかり過ぎるんです。

来館者が多いとか少ないじゃないのか。

委員長

これは学校では使うんですか、小中学校の教育の中で。

生涯学習課長

来ていただいているところもあります。

教育長

収入にならない、学校はただだから。

委員長

収入にはならないけど、教育上必要だという部分もあるのかなと。

望月委員

文化会館のほうが便利なんです。中学校の美術展をあそこのギャラリーでとか、そういうようなことも考えたけれども、まず場所がだめです。それから、駐車場が問題とか。

委員長

宮永さんの絵を預かる場所としてやるしかないです。支出が大きいうちならば、人を集めたりしないで、できるだけお金のかからないような管理をする。

教育長

保管料はしょうがないでしょう。あと削るとしたら運搬費、管理の受付の人件費。

生涯学習課長

ギャラリーの部分を収蔵庫に改造できれば、あのスペースぐらいでおさまると思うんです。

望月委員

運用を美術協会に協力してもらえないか。

教育長

ふるさとカレッジの卒業生がボランティアで受付をやってくれないか。

委員長

次に、なでしこ会館について。

なでしこ会館は、なぜ賃借料がどんどん安くなっているんですか。面積が少なくなっているんですか。

生涯学習課長	そういうことではないです。近隣の地価の関係だと思いま
委員長	す。 安くしようと思ったら、「この会議室は要りません。5階
生涯学習課長	だけでいいです」ということだってあるんじゃないか。
望月委員	今までの経過の中で、そういう話は出ていないと思いますが、そういう選択肢もある。
生涯学習課長	農協では安くするから使ってほしいという姿勢なんです
教育長	ね。 そういうことになります。
委員長	あその場所だったら、儲けようと思えば結構使えるんじ
加藤委員	やないのか、農協がマネジメントをやれば。
望月委員	今、あんな古いビルじゃだめです。
委員長	やっぱり駐車場がないと困ります。
生涯学習課長	農協は、民間に貸すということは考えていないんですか。
教育長	この4階の会議室は必要なんですか。
生涯学習課長	この会議室については、必要性はそんなに感じておりませ
教育長	ん。 行政評価どおり廃止して、いずみの分を借りるようになる
生涯学習課長	ほうが市の持ち出しは少なくて済む。
委員長	また更新の時期が来ますので、どのような形で方向づけ
教育長	ができるのか、ちょっと勉強してみたいと思っています。
委員長	洋上体験研修について。
教育長	市長は、ほかの地区の青少年と秦野の子どもたちが同じ船
委員長	と一緒に研修をすることのすばらしさを大変高く評価されて
生涯学習課長	いるので、来年度以降も続けたいという意向が強いです。こ
教育長	れは企画部のほうに今年から、予算が移りました。
委員長	秦野市が出すのが800万ということですか。
生涯学習課長	支出800万に対しまして、歳入500万ありますので、
教育長	市負担分は300万です。800万だけとらえられています
	ので、事業費が高いのではないかという話です。100人乗
	せても1人当たり8万円かかる。
	これは市長に任せませんか。政治的にも、広域の秦野の周
	辺のいろいろな市町村との関係の中で秦野がイニシアチブを
	とってやっていくんだと旗を振って洋上サミットまでやって
	こられた経過があるから、その市長が「そろそろどうだ、潮
	時じゃないか」と言われればあれだけれども、市長がやる気
	になっているものを何もこっちから無理してやめることな
	い。

委員長
教育長

スポーツ振興財団について。

これは、存続させるという結論が出ているので、存続する
なら、どう存続させるかという話だと思うんだけど、人事権
が教育委員会にはありませんので、市長部局に委ねるしか
ないですね。

今、スポーツ振興課が直営でやっているでしょう。来年度
も直営でやるような方向だよな。

スポーツ振興課
長
教育長

そうです。

職員を増やすのは理事会で決めることなんでしょう。自分
たちの予算を組むわけだよな、人件費分を。

スポーツ振興課
長
教育長

そうです。今、実施事業でその分を、どんどん人件費を入
れているようです。今、800万ぐらいを戻しています。

スポーツ振興課
長
教育長

でも、800万じゃ大した人件費じゃないじゃない。

そうです。だから、非常勤か臨時職員の配置になってしま
っている。

スポーツ振興課
長
教育長

でも、収益を考えたら、そんなに職員をふやせないでし
ょう。

スポーツ振興課
長
教育長

ふやせないです。

ということは、いつまでたってもスポーツ振興課の直営を
変えられないということか。

スポーツ振興課
長
委員長

そのためには、1つは、今のスポーツ振興課をスリム化し
ないと無理です。

教育長

スリム化したって、スポーツ振興課の人件費をここに入れて
やるというなら別だけど。

スポーツ振興課
長

きちっとした考え方を持ってもらわないと。それが持てる
かどうかです。

教育長

最大限このぐらいの市の持ち出しは仕方がない、その範囲
内でやってもらわないとしようがないです。

スポーツ教室を財団に委託しているんですけど、財団に委
託しなくたって民間に委託すればいいでしょう。

当初、財団が職員を雇用してやるのか委託してやるのかと
いうことで比較検討した中で職員は減らして委託で賄った。
そのほうが経費的にも安く上がったという中で、そういう選
択肢でやったという経過があります。

財団がなくても、スポーツ振興課が直接民間に委託してス
ポーツ教室はできるということです。

委員長 協議事項「坡州市中学生派遣研修事業について」教育指導課長から説明をお願いします。

委員長 教育指導課長より説明—
教育長 ご質問やご意見をどうぞ。

委員長 来年もやるかどうかという一つ大きな問題がある。やる方向でいいのではないかと私は思っているんだけど、お金を取るのか取らないのか、あるいは各学校割り当てにするのかしないのか。先ほどの望星丸は1人2万円取っていると高過ぎるという議員も中にはおられる。それから、1人頭にかかる経費が非常に高く、これだけの予算があればもっと多くの子どもに英語体験をさせることが可能だろうという意見もある。そんなことを含め、来年度、実施するか、あるいは改善するかということで皆さんからご意見をいただいて、予算編成にぜひ生かしていきたいということです。

委員長 これは、かかる費用が200万で、そして20人送るから1人10万かかっているという話ですか。これは全額市が出しているの？

教育指導課長 今年度は。

委員長 このことに関しては何もないんですか。船に乗せるのは「2万円取るのは高い」とか「1人当たり6万円も市が負担しているのはとんでもない」という話があるけど。

教育指導課長 今年度は、初年度でもあり、また、こういう事業があるという新たな啓発という意味合いがあるため、中学校から代表で全校でやった。来年度は、1人10万のうちの何万かは自己負担金を取るという方向で論議をしております。

教育長 決算報告をやっていないんです。来年の決算特別委員会あたりになって、これを見て「高過ぎるんじゃないか」ということが出てくる可能性がある。

望月委員 英語科の先生を増やすことを考えているのか。

山口指導主事 子どもたちと同じように、韓国の英語科の先生と日本の英語科の先生と一緒に合同で研修をやるというプログラムもあるので、教員も子どもたちと並行して研修を受けるということも有意義かなと思っております。

望月委員 ことし、先生たちお二人は、そういうような研修は全然関係がなくて、いわゆる引率だけだった。

山口指導主事 はい。

望月委員 先生たちは、英語村に入っていたときはどんな過ごし方をされていたのですか。

山口指導主事	子どもの授業の様子を参観させていただきました。場合によってはビデオを撮らせてもらったり写真を撮らせてもらったり、あるいは、向こうのスタッフの方とお話をさせていただいたり、たまたま、向こうの韓国の中学校の英語の教員が研修プログラムを受けていたので、それも見せてもらいました。
委員長	ここには先生のためのプログラムもあるんですか。英語を指導するためのプログラム。
山口指導主事	あります。
委員長	自分たちが研修を受けていて、子どもに何かあったときに対応できなかったということがあると困りますけど。
山口指導主事	中には救護施設もありますので、実際に気分が悪くなった子どもがいたんですけれども、スタッフに支えられて救護室で休むとか、それは私たちも逐一連絡をとっていたので、そういう態勢はとれると思います。
委員長	もともと日本には英語の先生を育てるためのプログラムは余りないでしょう。だから、大学院でも、英語教師のためのマスターコースは余りなくて、みんな、アメリカの大学の修士課程を出て勉強する。
望月委員	これはやったほうが良いと思います。
高橋委員	子どもたちの感想が良いことばかりで、良かったと思っているんですね。でも、人数が18人ということは、やっぱり少な過ぎる。引率の面で問題がなければ、向うの受け入れ態勢があればの話ですけど、もっと増やしたほうが良い。
委員長	やっぱり、自己負担をやったほうが良いんじゃないですか。私は全額でも良いと思うんですけど。
教育長	例えば、1人10万円で京畿道の英語村へといったときに、だったら民間のどこかの会社が英語研修とってツアーを組んだら5万ぐらいでできるなら、秦野市でやることはないじゃないかということになる。
委員長	そこが良いプログラムを持っているかどうかです。そうじゃなければ、50人集めて国内でやることだってできるわけだから。
教育長	自己負担といったときに、「生活保護や就学援助を受けている家庭の子どもについては別途支給する」なんていうことはできるの？
教育総務課長	無理ではないと思います。
委員長	こういうもののための奨学金をつくれれば良いじゃないですか。

教育指導課長 奨学金制度は、いろいろな議員から今までも、ここでも議論をお願いしましたが、英語研修を希望する子どもの保護者には出すという考え方はかなり難しいと思います。

委員長 今、10万出しているでしょう。

教育指導課長 もし、そういうふうに考えるのだったら、初めから負担金を下げる方向で提案したほうが。

望月委員 自己負担が多かったら行きませんよ。希望者は少ないと思う。

教育長 野外センターを使って秦野で1泊2日ぐらいのオールイングリッシュキャンプをやってみたいという気があるんです。これはお金も大してかからないし、希望者をできるだけたくさん集めて、そこで、カレーライスをつくるのもグループでやるのも全部英語でしかやっちゃだめ、キャンプファイヤーも全部英語、スタンスも英語、ソングも英語というような英語のそういったカリキュラム、英語村のミニチュア版みたいな秦野版をやれたらおもしろいなと思っているのですが、そういう体験を経て希望者は無料で英語村に行けるという方法もあるんです。

教育指導課長 ことし、市民自治振興課が平和使節団ということで中学校の希望者を集めて、春先に2泊3日で坡州に参りました。そのときは、約1人6万を使う中で3万が自己負担でした。

委員長 なお、ひろしま訪問団も半額という話を聞いています。これだって半額自己負担ぐらいのところがいいところだと私は思いますけれども。

教育指導課長 ありがとうございます。今のご協議をいただきまして、また予算案にこの事業を盛り込む形でまた検討を行いたいと思います。

教育長 さっき言った、野外センターで1泊2日オールイングリッシュキャンプというものをやってみたいのですが。

委員長 いいじゃないですか。

教育長 大学生、上智短大の英語がしゃべれる学生さんに頼んでみたらどうかという話があるんです。東海大はどうですか。

委員長 留学生のためのホームステイで探すわけです。その中に今のようなプログラムを乗せてもらえば、その日は秦野の子どもたちと生活をともにする日を入れることも可能ではないか。

それでは、ただいまから秘密会といたしますので、関係者以外の退席をお願いいたします。 [午後5時35分]

委員長

—関係者以外退席—

[削除]

以上で10月定例教育委員会会議を終了いたします。

[秘密会午後5時45分終了]